



2013年11月26日

各位

会社名 旭硝子株式会社
 代表者名 代表取締役社長執行役員 石村和彦
 (コード番号 5201 東証第1部)
 問合せ先 広報・IR室長 上田敏裕
 (TEL. 03-3218-5603)

国際会計基準（IFRS）の適用による定量的な影響について

当社は、今年2月に発表の通り、2013年12月期決算より国際会計基準（以下、IFRS）を適用します。2013年12月期通期の決算発表^{注1}からIFRSに基づく連結財務諸表を開示する予定であり、今般、IFRS適用による定量的な影響を以下の通りお知らせします。

注1：2013年12月期の第1四半期から第3四半期までの決算発表は日本基準で開示しています。

【損益計算書における影響】

1. 2012年12月期連結業績[※]のIFRS試算額 ※今年2月7日発表 [億円]

日本基準		認識及び測定の影響			表示組替		調整額計	IFRS 試算額 ^{注2}	
		退職給付関係	のれん償却停止	その他	持分法による投資利益	営業外、特別損益			
売上高	11,900							11,900	売上高
営業利益	929	63	19	△7	13	1	89	1,018	営業利益
経常利益	866	63	19	△7		△151	△76	790	事業利益 ^{注3}
当期純利益	438	38	17	△8			46	484	親会社の所有者に 帰属する当期利益

注2：IFRS試算額は未監査の数値です。

注3：金融収益、金融費用及び法人所得税費用計上前の利益を、事業利益として表示します。

2. 2013年12月期連結業績予想[※]のIFRS試算額 ※今年7月31日発表 [億円]

日本基準		認識及び測定の影響			表示組替		調整額計	IFRS 試算額	
		退職給付関係	のれん償却停止		持分法による投資利益	営業外、特別損益			
売上高	13,500							13,500	売上高
営業利益	700	50	20		10		80	780	営業利益
経常利益	650	50	20			△370	△300	350	事業利益
当期純利益	100	30	20				50	150	親会社の所有者に 帰属する当期利益

以上